

野川河床整備に関する川づくり説明会（第 2 回）の議事要旨

東京都は、野川の治水対策として進める河川整備に関し、環境面等も考慮した世田谷区区間の整備概要について、川づくり説明会を開催し地域の皆様に説明させていただきました。

説明会当日の議事要旨を作成いたしましたので、ご覧ください。なお、本議事要旨は、説明会時に頂いた意見や質問等を取りまとめたものであり、文言等の要約や説明を付加し作成しております。

1 開催概要

日時	平成 30 年 3 月 22 日（木） 18 時 00 分～20 時 00 分
場所	一般財団法人世田谷トラストまちづくりビジターセンター
参加人数	29 名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

ご質問・ご意見	都の回答
近年、河川水位はあまり上昇しておらず、溢水していないが工事を行う必要はあるのか。	現在行っている工事は、1 時間 50mm の降雨を安全に流下させるために行っているものです。 上流の未整備区間などは 1 時間 50mm の降雨が流れない状態であり、河川全体として安全に流下させるために、川底を掘り下げる必要があります。
オオジマザクラに限らず、他の生物や植物に配慮しているのか。川底を掘っているためその他生物についても懸念している。	工事直後はどうしても環境を乱してしまいますが、完了後、5 年から 10 年経過している場所については、生物や植物が戻ってきていることが確認できています。 今後も、整備済区間の環境調査を行い、回復状況を確認していきます。
オオシマザクラの代替案を 3 案提示しているが、他にも環境や樹木に優しい方法を考えてほしい。 提示されている案の中では第 3 案がいいのではないかと思います。	代替案については、提示案以外にも様々な案の検討を行った結果となっています。 今後もいただいた意見を踏まえ、検討を進めていきます。
防災関連の警報について、今まで聞こえたことがなく、役に立ってないと感じる。また、洪水予報について、1 時間 50mm 降雨でないと警報を出さないということか。	災害関連の警報は、区長から発信されています。情報が世田谷区へ行き、警報となります。 洪水予報は、1 時間先の降雨量等を予測して警報を出しているため、1 時間 50mm の降雨を基準とはしていません。それ以下の雨量でも必要があれば警報を発令します。

ご意見・ご質問	都の回答
<p>ハザードマップについて、上野田橋、中之橋付近で水色の着色がされているがこの付近は平らな地形で水位が1～2m上昇することは考えにくい。</p>	<p>ハザードマップの水位は標高を基準として着色されています。上野田橋、中之橋付近には一部標高が低い場所があるため、そこが水色に着色されていると考えられます。</p>
<p>土砂災害警報が出たとき、土砂災害なのか河川氾濫なのかの区別がつかなかった。区別して分かるような仕組みを早急に作ってほしい。</p>	<p>世田谷区に詳細を確認します。(以下、確認の内容) ※世田谷区に防災行政無線放送の発令内容について確認 防災行政無線放送による避難情報等では、「土砂災害」や「多摩川の氾濫」の文言を含めお知らせしています。 また、世田谷区から発令する避難情報等は、防災行政無線の他、「区ホームページ」、登録制の「災害・防犯情報メール」、ツイッター、緊急速報メール、FM世田谷でお知らせしています。</p>
<p>内水氾濫では警報は鳴らないのか。</p>	<p>内水氾濫は警報に含まれておりません。</p>
<p>神明橋の少し上流まで右岸側を掘削し、それより上流は掘削しないという認識でよいか。</p>	<p>治水目的の河床掘削を行う予定はありません。 ただし、桜の代替案によってはその部分で掘削などを行う可能性があります。</p>
<p>神明橋より下流側は下りられるようになっており、歩行が可能な親水性に配慮された形状になるという認識でよいか。</p>	<p>歩行可能な形態を考えております。</p>
<p>(平成30年度工事の)搬入路は1案か4案に限られるのか。</p>	<p>工事規模にもよるため断言はできませんが、恐らく2案、3案は難しいと思われます。</p>
<p>代替桜案と既存桜の存置案は二者択一なのか。 それとも両案を同時に行うことも考えていいのか。</p>	<p>代替案と存置案(保全案)は、それぞれ別の対策と考えてください。 代替案は、現在の桜の位置とは異なる場所に新たな桜を植えることを考えています。また、案によっては河川整備に合わせて行ったほうが環境等への負荷が少ないと考えています。 存置案(保全案)は、洪水時に大きな影響があるため、河川のHWL以下の樹冠剪定や、洗掘防止等の対策を行う必要があります。時期を含めた工事内容については、いただいた意見を踏まえ、検討を進めていきます。</p>
<p>桜は樹冠と根でバランスをとっていると聞いている、伐採イメージ図のとおりになると管理用通路側の枝を切ることで重心が河側により、バランスが損なわれるのではないかと。樹木医に相談して決めてほしい。</p>	<p>今回の伐採イメージ図は、あくまでもイメージであり、剪定にあたっては、樹木医に相談のうえ確定します。</p>

ご意見・ご質問	都の回答
<p>ビジターセンター利用者から、どのような工事をするのか問い合わせが多く、住民の方が関心を持っていると思われる。パース図などを工事個所に貼り、どのような工事をしているかわかりやすくしてはどうか。</p>	<p>ご意見のとおり、完成イメージが湧くものがあると、工事内容の理解が深まると思われるので、実施について検討します。</p>
<p>地元の方々から商店街を大型車が通行して迷惑だと聞いている。小型車を用いるなど商店街に対して配慮してほしい。</p>	<p>河川工事は渇水期に工事を行う必要があるため、工事時期が限られています。車両を小さくすると作業効率が悪く工事日数が増え、渇水期内での工事が困難となります。また工事車両の通行台数が多くなります。このような理由から、小型車両の使用は困難と判断しています。</p> <p>当該箇所へのアクセスを考えると、どうしても商店街を通る必要があることから、商店街や地元町会とも調整の上、工事車両の通行方法を確定します。</p>
<p>桜の代替案について、30年度には工事を行わないと思っていたが、30年度に工事を行う予定なのか。</p>	<p>現在検討中です。</p> <p>環境等への負荷を考えると、河床整備工事と同時に行うことが良いと考えています。</p>
<p>平成30年7月にまた説明会を行うと考えていいか。</p>	<p>7月に行います。その際には、30年度工事の内容、オオシマザクラの整備について等の検討結果の報告を行う予定です。</p>
<p>次回の説明会まで住民の声を聴く機会はないのか。</p>	<p>現在、7月の説明会以外でそのような機会は考えておりませんが、議事録やアンケート結果をホームページにて公開する予定です。</p>
<p>下流区間（喜多見大橋付近）の掘削工事の看板が出ているが何の工事なのか。</p>	<p>片側に寄ってしまった「みお筋」（河床の最深線）を中央へ復元させるための工事を行っています。</p>
<p>下流区間の掘削工事について。重機はどのように入っているのか。</p> <p>通行する際は、水を止めることなく、また、鉄板を敷かず移動しているのか。</p>	<p>小田急線付近にある斜路から河床に入り、下流へ進んでいきます。なお、通行する際の止水、鉄板敷きは行わず、極力植物等を避けながら走行していきます。</p>

以上